

第195号

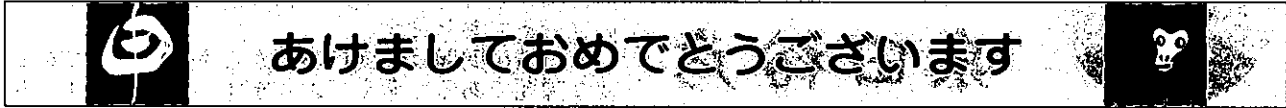
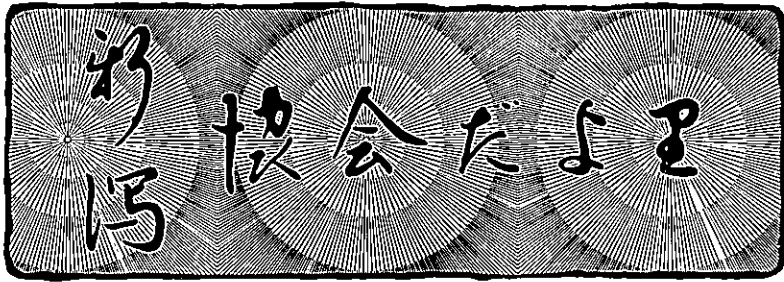
発行所 新潟市中央区新光町15-2
新潟県公社総合ビル内

公益財団法人 新潟県危険物安全協会

発行者 理事長 遠藤幹夫

編集者 事務局長 丸田浩

印刷 (株)ハイグラフィック



昨年中は大変お世話になりました
本年もよろしくお願い申し上げます

平成28年 元旦

〒950-0965 新潟市中央区新光町15-2 県公社総合ビル内
公益財団法人 新潟県危険物安全協会

理事長 遠藤幹夫

副理事長 中村正

副理事長 中西一則

専務理事 丸田浩

新年のごあいさつ



公益財団法人
新潟県危険物安全協会
理事長

遠藤幹夫

明けましておめでとうございます。

新潟県危険物安全協会会員事業所の皆様並びにご家族の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと心よりお喜び申し上げます。また、会員の皆様には、日頃より当協会の運営に対しまして多大なるご尽力、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、明るい話題としては3月に北陸新幹線が開業、県内上越地域をはじめ日本海側にも新幹線網が開通しました。一方社会的にも大きな影響を与えた問題として10月に発覚した、マンション建設工事でのくい打ちデータの改ざんが記憶

に新しいところですが、また世界に眼を向けてみますと各地で領土問題やテロが発生するなど、いろいろな事案が発生した1年でした。

さて、近年の県内危険物関連の事故件数の推移を見てみますと、平成17年以降は40件前後で横ばいになっていましたが、平成25年は過去10年間で最も少ない28件となり、平成26年は若干増加しましたが32件に留まりました。平成27年の結果はまだまとまっていますが、この減少傾向を継続させるため各事業所においても事故防止対策に取り組んでいかなければなりません。そのために①事故情報の共有化②自主保安体制の確立③腐食等劣化対策④地震・津波対策の推進⑤保安教育の充実といった取り組みを継続的に進めていく必要があります。事業所ごとに施設形態は異なるとは思いますが、それぞれにあった対応を進めていただき、施設の安全確保のレベルアップを図っていただくようお願いいたします。

最後になりますが、本年も皆様の御多幸と益々のご発展をお祈りするとともに、当協会への変わらぬご協力をお願いして、新年のご挨拶といたします。

《 当協会のホームページで講習の受付状況等について速やかにお知らせしています。 》
お申し込みの参考にしてください。

新春知事ごあいさつ



新潟県知事

泉田 裕彦

平成28年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

公益財団法人新潟県危険物安全協会並びに各地区支会・地区協会の会員の皆様には、日ごろから危険物の保安の確保にご尽力いただき、改めて感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、様々な「新」が生まれた1年でありました。

3月には北陸新幹線が開業致しました。北陸新幹線の利用状況は好調に推移しているようであり、開業を契機として新たな人の流れが呼び起こされ、首都圏ばかりでなく、関西・北陸圏との交流が活発化していると感じております。こうした開業効果を一過性で終わらせることのないよう、首都圏や関西圏からの継続的な流動をつくり、本県全体の振興に結び付けていきたいと考えております。

6月には、「新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院」を開院致しました。これまで魚沼地域に不足していた救命救急や高度医療の提供が可能となり、地域の皆様にとって安心できる医療体制の構築に向けた第一歩が踏み出せたものと考えております。今後は、周辺医療機関との適切な役割分担と連携を進め、地域の基幹病院としての役割を果たすことはもとより、優秀な人材が持続的に集積するシステムの構築が重要となります。首都圏からの利便性や新潟大学との連携による教育体制、東京大学も参画するコホート研究など、様々な特長を活かし、医療スタッフの集積が図れるマグネットホスピタルとなるよう、県としても支援して参ります。

9月には、新潟の新しいお米「新之助」を発表しました。品質への自信とブランドとしての意志の強さ、そして愛着のある存在として定着して欲しいという願いを込めた「新之助」という名前の発表後、米どころ新潟の新しいお米として各方面で話題となっており、来年の本格デビューに向けて良いスタートが切れたと思っております。「きらめく大粒、コクと甘みが満ちている」という特長を持つ自信作を、ぜひともコシヒカリと並ぶ新潟の新しい顔に育てていきたいと考えております。

このところの経済動向に目を向けますと、円安基調等を背景として、輸出型大企業を中心に業績改善の動きが見られるものの、県内の多くの中小企業においては未だ景気回復の実感が乏しいのが実態です。県としましては、経営面でのセーフティネット対策に万全を期すとともに、設備投資等の促進や消費の拡大など、需要の喚起につなげる施策の展開に努めて参ります。さらに、中長期的な観点から、様々な分野で民間企業が競争力や知恵を発揮しやすい環境と仕組を整えるなど、県経済の今後の飛躍に向け

た取組にも積極的に取り組んで参ります。

さて、「地方創生元年」と位置付けられた昨年来、全国各地で人口問題への対応を中心とした地方創生に向けた施策が展開されております。県としましても、本年は、新潟県というふるさとを持続可能な社会に創り上げていく取組を積極的に推進して参りたいと考えております。

人口減少問題は、就任当初から本県にとっての重要な課題であると考えております。昨年10月1日現在の本県人口は、一昨年と比べて1万8千人を超える減少となり、平成9年をピークに18年連続で減少し続けています。しかし、様々な取組を行ったことで、国立社会保障・人口問題研究所が試算した将来推計人口が上振れしているように、未来は変えることができると考えております。県としましては、人口問題対策会議の議論等を踏まえて、人口減少対策の取組を本格化させているところであり、出会いの場の創出や働きながら子育てできる環境の整備、教育環境の充実など、県としてできる限りの対策を多面的に展開して参ります。昨年10月末には、県版の人口ビジョン及び地方創生総合戦略をとりまとめたところであり、今後は、総合戦略で掲げた目標や政策の方向性も踏まえ、総合的かつ実効性のある施策展開を図って参ります。

また、近年、全国各地では、東日本大震災後も、地震、火山噴火並びに水害・土砂災害等が頻発し、自然災害対策の重要性が高まっています。防災力を強化し、安心、安全な県をつくることは大きな課題であり、地方創生にもつながるものと考えております。国では平成26年6月に国土強靱化基本計画を閣議決定し、県においても国土強靱化地域計画の策定・実行に向けた取組を進めているところです。

危険物施設につきましては、この計画の中で地震災害対策が掲げられているほか、平時の事故防止も重要です。危険物に係る事故件数は、全国的にみて依然として高い状態であり、本県においても昨年は大きな事故は無かったものの、多くの事故が発生しました。県では、貴協会と共に「危険物実務研修会」を開催するなど、事故の再発防止に努めているところです。

貴協会会員の皆様におかれましても、これまでも増して危険物施設の保安管理の充実・強化に努められ、事故の未然防止を徹底されますよう更なるご尽力をお願いする次第です。

本年4月には、G7農業大臣会合が新潟市で開催されます。国内有数の農業県である本県において、主要7か国の農業大臣が一堂に会し、食料安全保障等について話し合うことは、大変意義深いものと考えております。県としましても、G7農業大臣会合の成功に向けて最大限努力するとともに、食、農業をはじめとした本県の素晴らしさをしっかりと世界に発信する機会にして参りたいと考えております。

今年の干支の「申」という字には、「伸びる」、「果実が成熟していく」との意味があります。県民一人ひとりが希望を抱き、未来を描くことのできる地域社会の実現に向けて、県勢がさらに伸展していく1年となるよう、本年も全力を注いで参ります。

結びに公益財団法人新潟県危険物安全協会並びに各地区支会・地区協会の会員の皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつと致します。

第29回新潟県保安大会開催（保安功労者等の知事表彰）

新潟県と新潟県保安関係団体協議会（構成6団体）の共催により、平成27年10月30日（金）に、第29回新潟県保安大会が新潟県知事（代理：北窓隆子副知事）出席のもと、県議会議長、県警察本部長、県消防長会会長（新潟市消防局長）を来賓に迎え、大会関係者約150人が参加して、県庁講堂で開催されました。

「大会宣言」を採択した後、表彰式が行なわれ、当協会からは、株式会社田辺商店（代表取締役田辺正克 三市北蒲原地区支会）が優良事業所として、近藤伸一氏（近藤酒造株式会社代表取締役社長 五泉東蒲原地区支会）が保安功労者として、歌代修氏（株式会社リンコーコーポレーション所属 新潟地区支会）、長谷川和雄氏（大島運輸株式会社所属 長岡危険物安全協会）が優良従事者として、それぞれ新潟県知事表彰の栄誉に輝きました。

栄えある表彰は、受賞されました方々の災害防止に対する不断の努力の賜物であり心からお慶び申し上げます。今後とも危険物災害の防止に御尽力をいただきますようお願い申し上げます。



第29回 新潟県保安大会

主催 / 新潟県保安関係団体協議会 共催 / 新潟県 協賛 / 1月1日～15日 新潟県庁 新潟県文化センター 新潟県立美術館

北窓隆子副知事を囲んでの記念撮影



左から歌代修氏、近藤伸一氏、
中西一則副理事長、長谷川和雄氏
田辺商店代表は欠席のため顔写真を掲載

表彰式終了後、「放送こぼれ話し～一流の条件～」という演題で、NHK文化センター新潟支社支社長齋藤洋一郎さんの記念講演がありました。

一流の選手とは、良い成績を安定して長く維持できる選手のことであり、そのためには、①強い願望を持つこと（ハンガリー精神やプラス思考で考える）②自分に対して厳しいこと③良い出会いがあること（自分を磨くと良い出会いもある）の3条件が必要とのことでした。また、数ある競技の中で一番ルールブックが薄いのはサッカーであり、17条しかない。これが、世界中でサッカーが盛んな理由である。（オリンピックは204の国と地域だが、サッカーは209の国と地域がFIFAに加盟しているとのこと。）

その他にも、ご自身の失敗談や野球に関するお話しなど一時間があっという間に過ぎてしまいました。

賛助会員のご紹介 ～賛助会員募集中～

賛助会員として入会されました皆様をご紹介します。当協会の公益事業に御理解をいただきまして感謝申し上げます。

◎法人（五十音順、敬称略）

- ・名称：有限会社 エステック 代表者氏名：代表取締役 五十嵐 昇
住所：〒950-2023 新潟市西区小針1502番地3
電話：025-230-7007 Fax：025-230-7009
業種：地下タンク等定期点検認定事業者、移動貯蔵タンク定期点検認定事業者
- ・名称：有限会社 オイルメンテナンス新潟 代表者氏名：代表取締役 野上 了
住所：〒950-0063 新潟市東区上王瀬町1番50号
電話：025-279-0050 Fax：025-279-0051
業種：地下タンク等定期点検認定事業者
ホームページアドレス：<http://e-abura.jp/>
- ・名称：株式会社 パンオイルサービス 代表者氏名：代表取締役 平松 太郎
住所：〒950-3102 新潟市北区島見町2360-1
電話：025-255-2870 Fax：025-255-2167
業種：地下タンク等定期点検認定事業者、移動貯蔵タンク定期点検認定事業者
ホームページアドレス：<http://www.panoil.net/kaisya.html>

◎個人（敬称略）

県庁防災局消防課有志ほか

当協会では、年間を通じて賛助会員の募集を行っております。賛助会費は税制上の優遇措置が受けられますので、当協会の活動に御理解をいただきまして、御支援を賜りたくお願い申し上げます。申込方法等はホームページをご覧ください。

訂正とお詫び

平成27年8月1日発行の第194号協会だよりにおきまして、消防庁長官表彰の優良事業所表彰を受賞されました株式会社和田商会様の取締役社長和田晋弥氏の写真表記が晋也氏となっております。晋弥氏が正しくここにお詫びして訂正いたします。

危険物実務研修会を上越、新潟の2会場で開催

当協会が新潟県危険物事故防止連絡会と共催している危険物実務研修会を、12月2日(水)に上越市「上越市市民プラザ」で、12月3日(木)に新潟市「新潟県自治会館」で開催いたしました。

開会にあたり、県防災局消防課梅津課長補佐（新潟会場）、上越地域消防事務組合消防本部小池予防課長（上越会場）からご挨拶をいただいた後、消防課予防係の渋谷専門員、独立行政法人労働安全衛生総合研究所の高木首席研究員から御講演をいただきました。いずれも大変有意義な内容でしたが、特に高木氏からは、多くの労働災害を調査された経験と当県の事故発生状況の分析結果を踏まえ、「事故を起こしてはならない」ということを熱く語っていただき、貴重な教訓をいただきました。両会場あわせて209名の受講者があり、熱心に受講されていました。

両氏の講演の主な内容は、以下のとおりです。

1 渋谷辰雄氏 「県内の危険物事故の概要について」

当県では危険物施設数は減少（10年間で2割減）しているものの、事故件数は年40件程度で推移している。平成25、26年は減少したが、これは皆様の事故防止への取組の成果であり、是非この傾向が継続されるよう引き続き取り組みを続けていただきたい。

この1年間に以下の特徴的な事故が発生した。

- ・雪の重みで配管が割れた事故
除雪を怠ったことに加え、タンク元弁、防油堤水抜き弁を閉めておくという基本操作が行われていなかった。背景には保安監督者の自覚の欠如があった。
- ・腐食により泡消火設備の加圧用高压ガス容器が破裂した事故
的確な定期点検が行われなかった。特殊な設備の場合、専門業者による点検を受けることも考慮する必要がある。
- ・工事中の小口径配管が折損した事故
施工前の確認が不十分だったことに加え、工事指示書に具体的な指示がなかった。工事に伴うリスク評価とその対策が欠如していた。

2 高木元也氏 「危険物事故防止とヒューマンエラー」

事故を起こしてしまったら、決して事故前の状態に戻ることにはできないことを銘記する必要がある。

人間は必ずエラーを起こすので設備的な対策も不可欠であるが、まずはルールを決めて守ることが基本である。この講演を聞いた皆さんは、この後事業所で現場の人の「心と体」を動かすとともに、行動するための目標を作っていく事が重要である。

新潟県の事故情報を分析した結果、問題点は明らかである。第三者として見ると、凡そ「危険な物」を取り扱っている事業者とは思えないほど、同じような事故が繰り返し発生している。行うべき対策は簡単だと感じており、アクションが必要である。「言うことは簡単だが経費等が掛かる」という声もあるだろうが、事故が発生してしまった場合の損害や社会的影響を考えれば納得できるはず。

まず、多発する事故原因をつぶしていく事から始めるべきである。

(1) 腐食・疲労等の劣化による事故

統計上、30年以上経過している設備で事故が多い。経過年数、定期点検の実施状況と結果等を、簡単なチェック表で確認すれば、詳細点検や更新の必要性などが簡単に解るはずである。

(2) 労働者の行動等に起因する事故

特に目立つのがオートストップの不作動による事故。これだけの事故件数があれば、この機能はないものとして注油中は監視を続けることが必要である。ヒヤリハット事例を調査すれば、事故に至らない不作動件数は相当数になると推測される。

この他、ヒューマンエラーの原因となる12種類の人間の特性（本能）とこれらへの対策や、「危険性の軽視」と「不注意」という多く発生するエラー防止のための教育・指導を充実させることの重要性、指示をうまく伝えるための方策についても説明があった。



梅津 了 氏



小池 一彦 氏



講師 渋谷 辰雄 氏



講師 高木 元也 氏



研修会場全景（新潟会場）

給油取扱所の事故を無くそう！ PART 2

～セルフ給油所での事故を防ごう！～

新潟県防災局消防課

平成27年4月1日発行の協会だよりで、県内で発生した5年間の給油取扱所の事故について分析し、事故防止対策を紹介しました。今回は、セルフ給油所での事故例を紹介し、対策を考えます。

県内では平成27年3月末現在、161施設が設置され県民に広く利用されています。

給油取扱所は、一般の方が立ち入る危険物施設であることもあって事故発生率が高いですが、とりわけセルフ給油所は顧客が給油作業を行うため更に危険性が大きい施設です。

1 県内事故事例

(1) 給油ノズルを収納する際に噴出させた事故

・事故の概要

取扱いに不慣れな顧客が、給油終了後にノズルの収納方法がわからず、試行錯誤を繰り返しているうちに誤ってレバーを握ってしまった。このため給油設備から跳ね返ったガソリンを顔面等に浴びた。(負傷者1名)なお、給油所から消防への通報もされなかった。

引火した場合、顧客の生命にかかわるおそれがあった事故でした。

・事故防止対策

監視者は給油作業の監視を確実に行うことが重要です。

はっきり指示する(放送機器等の積極的な利用)

危険性を感じたら直ちに停止する

毅然とした対応をする

(2) パッケージ型泡消火設備の加圧用高圧ガス容器が破裂した事故

・事故の概要

収納箱内の加圧用高圧ガス容器の底部が腐食して減肉し、突然破裂した。1名が耳を負傷し、消火設備の部品が飛散して車両6台(最大33m離れた位置)が損傷した。

・事故防止対策

消火設備のことをよく知って、確実な点検を行う事が重要です。

腐食しやすい環境に置かない(雨水等と接触させない)

取扱説明書をよく読んで、取扱い方法、危険性を把握する

定期点検を確実に実施する(専門業者による点検も考慮)

(3) 顧客トラックが連続して設備を損傷した事故

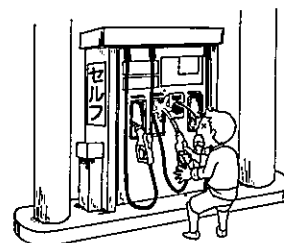
・事故の概要

顧客トラックのアルミバン部分等が固定注油設備の屋根に衝突した。同じセルフ給油所で繰り返し発生した。

・事故防止対策

ハード面の安全対策を講じることも重要です。

最小限の従業員ではあるが、車両誘導などソフト面にも留意する



2 県外事故事例

劣化した設備を使用して繰り返し流出させた事故

・事故の概要

2日前の日常点検で給油ホースに亀裂があることを確認したがそのまま使用を続けていた。この結果、亀裂箇所からガソリンが噴出して顧客にかかる事故が発生したが、それでも使用を止めなかったため再度同様な事故が発生した。

給油所では消防機関へ通報せず、翌日の顧客からの通報で発覚した。

・事故防止対策

異常を発見した設備の即時使用停止

点検の確実な実施と不良個所の速やかな改修

安全教育の継続的な実施(安全に対する感性の欠如)

3 おわりに

セルフ給油所には各種の安全設備が設置されていますが、更に危険物取扱者が危険物の知識がない顧客の給油作業をしっかり監視・制御することによって安全を確保しなければなりません。しかし、セルフ給油所の火災危険性はフルサービスの2.4倍、固定給油設備に限ると8.4倍にもなっています。(保安講習テキスト「給油編」から)

上記の事故事例の他、「給油口に集まってきた虫を追い払おうと、給油しながらライターに点火して引火した事故」など、およそ信じられない事故も発生しています。また、危険な「つぎ足し」や、行ってはならない「ガソリン携行缶への注油」などの監視も重要です

また、事故が発生した場合は、速やかな消防への通報が必要です。

お客様への最大のサービスは、安全に給油作業を行っていただくことです。想定外の行動をすることを念頭に置いて確実な監視・制御をお願いします。

南魚沼地区支会 南魚沼市縦断駅伝大会に参加して危険物流出事故防止を訴えました

平成27年10月25日(日)に開催された第11回南魚沼市縦断駅伝に危険物安全協会南魚沼地区支会チームが



チームのユニフォーム(Tシャツ)



地区支会駅伝チーム

参加しました。

大会参加は本年度で3回目の出場となります。『油漏れストップ!』とプリントされたTシャツを着て南魚沼市内を走りぬきました。沿道からのあたたかい声援を受け無事にゴールすることができました。これから暖房機器を使う季節を迎えるにあたって、危険物流出事故防止を市民に広くアピールすることができました。



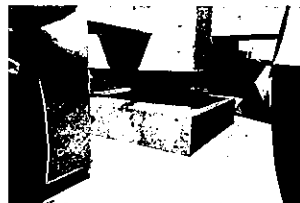
たすきを繋ぐ

佐渡地区支会 長岡市消防本部及び生ごみバイオガス発電センターを視察

平成27年10月27日(火)、28日(水)の日程で、長岡市にある長岡市消防本部と生ごみバイオガス発電センターを地区支会役員が視察しました。

平成22年4月に運用が開始された長岡市消防本部の新庁舎は、長岡市防災シビックコア地区の中心に建設され、消防本部庁舎としては県内初の免震構造で、地震時の大きな揺れを分散して抑えているということでした。

生ごみバイオガス発電センターは、平成25年7月から稼働し、自治体としては国内最大規模の処理能力(生ごみを1日65トン処理)を持ち、その生ごみからガスを発生させ最大で年間410万kw



長岡市消防本部の基礎免震構造のアイソレーター

(約1,000世帯分)の電力を発電しているそうです。残りの残留物についても売却し、生ごみを100%利用することで、1番の目的である焼却ごみの削減を実現したそうです。

参加者からは、免震構造の庁舎やバイオガスによる発電等を視察でき、大変有意義であったとの感想をいただきました。



長岡市消防本部の基礎免震構造のオイルダンパー



生ごみバイオガス発電センターの発電機

「灯油の流出事故防止」と「ストーブの適正使用」に御協力をお願いします!

あっ! 忘れてた!

油断大敵

ホームタンクからの小分け中はその場を離れない!!

火の用心!! ストーブなど火の取扱いに注意しましょう。

油を漏らしてしまったら、元栓を閉め、流れ出ないように応急処置し、最寄りの消防署、市町村役場や県の地域機関に通報しましょう。

新潟県

県からのお願い

ストーブ等暖房器具の使用機会が増える冬季は、毎年、河川などへの灯油の流出事故や火災が多発します。

県では、事故や火災の発生を防止するため、関係機関・団体と連携し、県民の皆様にはチラシやポスター等により事故防止を呼びかけています。

地区支会・地区協会の皆様におかれましては、お客様へ、「ホームタンクからの小分け中はその場を離れないこと」や、「ストーブの周りに燃えやすい物を置かないこと」などを周知して下さるようお願いいたします。



皆さんにお願いしたいこと

- ① ホームタンクからの小分け中はその場を離れない
- ② 給油後はバルブをしっかりと閉めたことを確認
- ③ 降雪前にホームタンクからの配管に異常がないか点検
- ④ 積雪でホームタンクや配管を傷めないよう注意
- ⑤ 油が流出したら、元栓を閉め、流れ出ないように応急処置
- ⑥ ストーブへの給油は、火を消してから
- ⑦ ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



平成27年度第2回地区支会事務局会議開催

平成27年12月7日(月)に、新潟市新光町「トラック総合会館」において、12月県議会開会中でご多忙の中、県防災局消防課西潟良成副参事、渋谷辰雄専門員のご参加をいただき開催しました。

会議の冒頭、中西一則副理事長から、今日の会議は、今年度の協会業務の実施状況及び来年度の事業計画等の事前説明となっているので忌憚のないご意見をいただき、協会と地区支会・地区協会の意思疎通を図っていききたい旨の挨拶がありました。

県防災局消防課西潟良成副参事からは、保安講習開催に当たり、地区支会・地区協会から保安講習の講師派遣にご協力をいただいていることへのお礼と危険物取扱者の保安意識の向上、技術的レベルの向上のためには、現場の皆様からの講義が有用であるので引き続き御協力をいただきたい旨のご挨拶がありました。

会議では、平成27年度の協会業務が地区支会・地区協会のご協力もあり順調に進んでいることを報告すると共に、受験準備講習、保安講習の平成28年度の実施方針、各種表彰事業の留意点及び協会役員の改選等について説明しました。

事務局で用意した議題につきましては、了承されましたので、来年度の事業計画としてまとめ、理事会、評議員会の承認を得て参ります。

○ 受験準備講習

平成28年度の開催計画は、平成27年度と同等とし、開催回数は15回を維持し、1日講習、土日開催、夏休み中開催も継続していきたい。

○ 保安講習

平成28年度の開催計画は、平成27年度と日程、会場とも、概ね今年度同様の計画とし、3年周期開催の地区も従来どおりとしていきたい。



副理事長
中西副理事長



西潟副参事



会場全景

平成27年度 企業・専任講師会議を開催

平成27年12月10日(木)に、当協会の企業・専任講師会議を開催し、平成27年度の受験準備講習、保安講習の実施状況、平成28年度の講習計画等について説明し、講義方法等について検討を行いました。

受験準備講習については、事務局からアンケート調査結果について説明を行いました。設問の中で最も重要である「受験勉強の参考となるよい講習会だった」かどうかに対しては、93%もの方からよかったという評価をいただきました。その他、各科目の総合的な評価である感想や、合格するために重要な部分の理解、講師の説明の仕方、今後の自習に対する自信など殆どの項目で26年度より良い評価をいただきました。

事務局では、講師に対して試験の重点項目を示すとともに、プレゼンテーションソフトを使用した視覚資料も利用していますが、受講者にとって更によりよい講習会になったと思われます。

一方、一部の受講者から「進行が早い」「要点を絞った説明を」などの意見も寄せられていますので、今後とも講義方法を工夫し、受講生に自信を持たせて合格率アップに繋げていくこととしました。

受験準備講習会に参加しませんか!!

～お申し込みは便利なインターネット受付で～

危険物取扱者乙種第四類試験受験準備講習会は、今年度は1・2月に開催する1日半の講習会(詳細はP8参照)のみとなりました。来年度もより受講しやすい講習会とするため、土日開催、1日修了コースの開催、夏休み期間中の開催も計画しています。

講習内容については、上記の「平成27年度 企業・専任講師会議を開催」にあるとおり、多くの受講者から好評をいただいております。また、今年度から便利なインターネット受付も行っております。

今後とも、受講生の要望である「試験対策に徹した講習」となるよう、出題傾向を念頭に置いたメリハリのある講習としていきます。

講習会への参加、資格の取得は従業員のスキルアップにもなりますので、是非受講をご検討ください。

合格への近道 受験準備講習会のお知らせ

当協会では、下記のとおり乙種第四類の受験者を対象とした受験準備講習会開催しますので、是非参加されまして合格を目指してください。

講習内容は、より試験対策に徹した、要点を絞った内容としており、多くの方々からご好評をいただいております。

受講の申込は、便利なインターネット受付、又は各地区支会・地区協会事務局、消防本部・消防署、及び当協会に用意してあります受講申込用紙をご利用ください。

また、講習についてのお問い合わせは、当協会又は最寄りの各地区支会・地区協会事務局へお願いします。

平成27年度最終の乙種第四類受験準備講習会日程

講習日	講習会場	定員	申込受付期間
1月18日(月)～19日(火)	上越市市民プラザ	100	12/18(金)～1/12(火)
1月26日(火)～27日(水)	長岡新産管理センター	80	12/25(金)～1/19(火)
2月2日(火)～3日(水)	新潟テクノスクール	100	12/28(月)～1/26(火)

講習時間 1日目：午後1時30分より午後4時30分まで（物理／化学）
2日目：午前9時30分より午後4時30分まで（燃焼消火／性質等、関係法令）

〈参考〉平成27年度最終の危険物取扱者試験日程

試験日	受付期間		試験の種類	試験実施地
	電子申請	書面申請		
平成28年3月5日(土)	1月10日(日)～1月24日(日)	1月13日(水)～1月27日(水)	全種類	新潟市、長岡市、上越市

(注) 試験のお申し込み先は、(一財)消防試験研究センター新潟県支部 (☎025-285-7774) です。

平成28年度当初の乙種第四類受験準備講習会の計画 (案)

平成28年度当初の受験準備講習は、下記のとおり予定しております。

3月下旬に発行する平成28年度の「受験準備講習会案内」や当協会のホームページをご覧ください。

日程が変更となる場合もありますので、詳しくは、

講習日	講習会場	定員	申込受付期間
4月21日(木)～22日(金)	アミューズメント佐渡	50	4/1(金)～4/14(木)
4月25日(月)～26日(火)	新潟テクノスクール	100	4/1(金)～4/18(月)
4月26日(火)～27日(水)	新発田市生涯学習センター	48	4/1(金)～4/19(火)
4月27日(水)～28日(木)	上越市市民プラザ	100	4/1(金)～4/20(水)

〈参考〉平成28年度 最初の危険物取扱者試験日程

試験日	受付期間		試験の種類	試験実施地
	電子申請	書面申請		
平成28年6月4日(土)	4月17日(日)～5月3日(火)	4月20日(水)～5月6日(金)	全種類	新潟市、長岡市、上越市、新発田市、佐渡市

保安講習のお知らせ

保安講習の開催は、今年度は下記の講習会のみとなりました。受講義務のある方は、忘れずに受講してください。

受講申し込みに必要な、「危険物取扱者保安講習受講申請書」は、最寄りの消防本部・消防署、各地

区支会・地区協会事務局、当協会に用意してあります。

詳しくは、当協会、最寄りの消防本部・消防署、各地区支会・地区協会事務局又は県庁消防課にお問い合わせください。

平成27年度最終の危険物取扱者保安講習日程

講習日	講習会場	講習種別※			定員	受講申請受付期間
		(その他)	給油取扱	コンビ		
2月16日(火)	新潟テクノスクール	午前			120	1/12(火)～1/26(火)
		午後			120	
2月17日(水)		午前		午後	各120	

※講習時間等 <午前の講習> 受付時間：9時00分～9時30分 講習時間：9時30分～12時30分
<午後の講習> 受付時間：1時00分～1時30分 講習時間：1時30分～4時30分

保安講習、受験準備講習とも定員に余裕がある場合は、受付期間終了後でも受け付けます。協会ホームページの受付状況をご覧になるか、当協会へお問い合わせください。